

みんなの 町議会

第30号

平成24年4月15日

広島県



じんせきこうげんちょう

神石高原町



「未来創造」の予算成立 … 2

未来創造へのこだわりは(総括質問) …… 8

ありゃあどうなった?緊急放送システム …… 22

「うえの」(元気なグループ紹介) …… 24

卒業記念絵画「21世紀の塔」前で神石小学校卒業生(3月22日)

■発行／広島県神石高原町議会

■編集／議会広報広聴調査特別委員会

全会一致で可決!

未来創造の基盤を整備

3月定例会

3月定例会は3月5日から、16日までの会期で開かれ、平成24年度当初予算案、平成23年度各会計補正予算案、介護保険条例などの条例改正および議員提出の意見書2件を含む72議案を審議し、全て原案どおり可決した。総括質問では、13人の議員が予算大綱など当面する町政についてたじた。

予算大綱(施政方針)の主な内容



予算大綱を述べる牧野町長

合併から今日までの集大成ととらえ、本町の未来を創造する基盤を整備する予算とし、住民が明るい未来や夢を創造・実感できるまちづくりに向け、きめ細やかで充実した予算編成を行った。「信頼と合意」「創造と改革」の基本理念のもと、「県内で一番住みやすい町」「誰もが住んでみたい町」の理想郷づくり実現に取り組む。

最重要課題として取り組みを推進!

1. 雇用の創出(企業誘致を念頭に若者の職場を確保)
2. 農業の6次産業化推進(未来創造計画)
 - ・赤と黒のプロジェクト(トマト・和牛・ブドウ)
 - ・小規模団地の整備
 - ・油木高校との連携(食用ナマズの養殖・養蜂)
 - ・新商品開発 販路拡大
3. バイオマス構想の推進
4. 学校教育環境の充実(小学校施設整備 中学校再編)

未来創造の主な取り組み

1. 高原の特長を生かし快適で魅力に満ちたまちづくり
 - ・地域おこし協力隊の活動、買い物困難者支援、源流の里維持再生など自治振興会との協働で地域力強化
 - ・地域防災計画の見直し・ハザードマップ作成・消防自動車更新・耐震性防火水槽設置、バイオマス調査研究
2. 保健・医療・福祉が充実した安心して暮らせるまちづくり
 - ・子宮頸がん・ヒブ・小児用や高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種継続・妊婦歯科検診無料化・第3子からの保育料半額・託児所保育料の減額・幼稚園への助成充実
3. 自然と歴史を生かした文化のまちづくり
 - ・神石小学校給食棟建設、統合中学校建設設計、神石小学校校舎建設・豊松小学校体育館耐震化工事
 - ・エコスクール見える化・体験活動推進事業で児童間交流、中高連携教育、油木高校支援
4. 地域資源を生かし活力ある産業と交流のまちづくり
 - ・未来創造事業の実施、新規就農希望者の研修・担い手確保、6次産業化推進、ブランド発信、産直市場の運営改善・経営コーデイネーター活用・体制整備・販路拡大
 - ・油木高校の食用ナマズ養殖・養蜂の市場性検証
 - ・鳥獣害対策・猿用電気ネット・被害のり面復旧助成
 - ・店舗リニューアル・空き店舗活用へ助成、観光案内所創設・帝釈峡観光振興推進・国内外都市との姉妹提携調査
5. 交通・情報通信基盤が整い一体感あふれるまちづくり
 - ・かがやきネットの安定運営など情報通信基盤整備
 - ・町道宇賀線改良(神石)、交通支障木除去への助成(自治振興会を対象)、積雪対応に配慮した安全な道路管理

96億9,000万円

前年度比**2.7%**の減

議会政策提言 実現

各常任委員会の「政策提言」を実施・推進することが決定。

提言

①新規就農者支援

- ・営農指導、農業経営研修

・新規就農インターンシップ助成

新規就農希望者の農業技術習得などの研修を受け入れる農業公社・農業法人などへ助成。（未来創造計画事業）

提言

②産直市場改革

- ・3店舗の経営統合・改善
- ・店長会議など横の連携強化
- ・社員教育の徹底
- ・ローソン正面階段へスロープ設置

・経営コーディネーター活用

（未来創造計画事業）

・店舗間の連携強化に取り組む

・社員研修の実施

・既存スロープへの表示用看板設置



予算案に賛成

平成24年度予算案に対する質疑の後、議会を代表して総務文教常任委員長が賛成意見を述べ、全会一致で可決。



本町の財政状況は行財政改革など、財政健全化に努めた結果、実質公債費比率は、18.0%まで回復している。歳入面では、地方交付税や特別交付税は震災の影響で減少が見込まれており、自主財源の乏しい本町にとって引き続き予断は許されない。

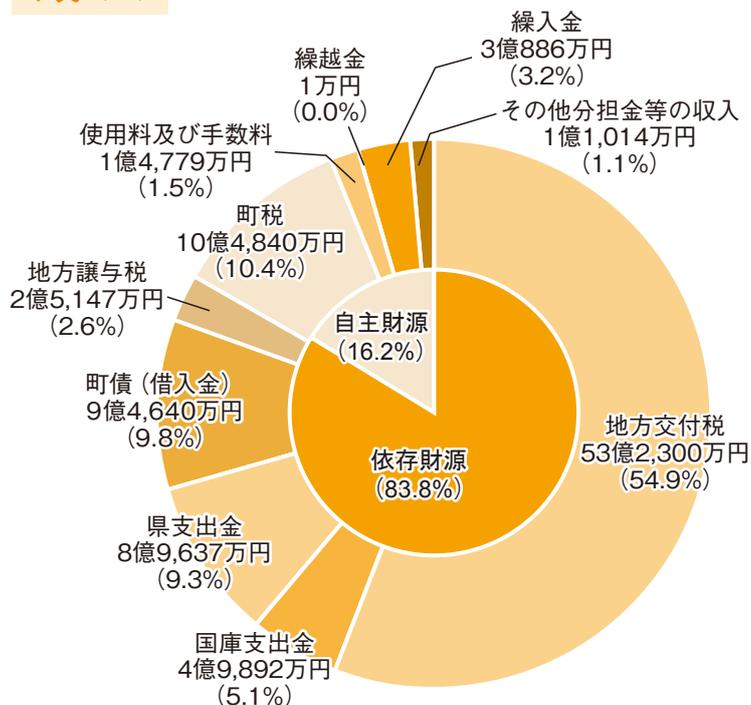
「第2次行財政改革プラン」の策定や新たな一般会計による財政運営の検証など、「持続可能なまちづくり」に取り組む姿勢は高く評価できる。一般会計当初予算案は「歳入に見合った歳出」を基本に、総額では前年度比2.7%、2億7000万円減の96億9000万円の予算となっている。

予算大綱で示された「夢と創造」をキーワードに未来創造の基盤整備のため、最重要課題実現にむけ、予算審議での各議員からの指摘や提案などを十分参酌の上、「積極的にチャレンジし」、住民が「明るい未来や夢を創造し実感できるまちづくり」の実現に向けて、改善工夫されることを要望し予算案に賛成する。

平成24年度一般会計

歳入と歳出の比較

歳入



おもな事業

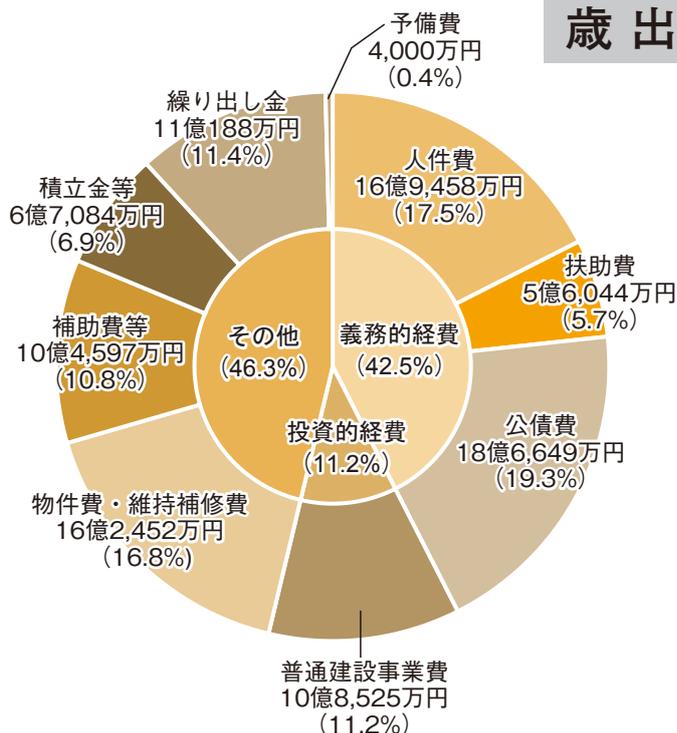
- 自治振興会活動経費 4,189万円
- 源流の里維持再生事業 3,050万円
- 雇用対策基金 2,167万円
- クリーンセンター神石 8,870万円
- 一般廃棄物収集処理 7,200万円
- 常備消防経費 2億7,138万円
- 非常備消防関係事業 1億2,515万円
- やすらぎ苑施設経費 2,520万円
- コミュニティー31施設 2,177万円
- 予防接種事業 4,146万円
- 成人保健事業 3,817万円
- 介護給付・訓練給付 2億2,793万円
- 障害者支援事業 2億5,784万円
- 児童手当給付事業 1億2,330万円
- 保育所5施設経費 1億2,214万円
- 商工業振興経費 2,132万円
- 農林業振興経費 5億502万円
- 自然公園施設管理運営 3,764万円
- 学校教育推進経費 4億1,848万円
- 社会教育推進経費 2,605万円
- 図書館施設管理経費 1,133万円

平成24年度会計別予算

単位: 万円 (四捨五入)

会計名	予算額	前年度比	
一般会計	96億9,000	△2億7,000	
特別会計	国民健康保険	11億5,410	△1,970
	後期高齢者医療	4億370	2,920
	介護保険	19億340	7,230
	簡易水道事業	3億5,200	△1億2,900
	飲料水供給事業	3,410	△360
	農業集排事業	2億4,690	350
	分収育林事業	10	△240
	総合開発事業	7,510	△4,490
	合計	41億6,940	△9,460
	病院事業会計	1億8,200	400
合計	140億4,140	△3億6,060	

歳出



条例制定・改正 こんなことが 決まりました

規約

神石高原町と福山市との間で児童の発達支援の事務委託

福山市に対し発達障害に係る専門的な医療支援の事務を委託する。

条例改正

町税

- たばこ税が一本当たり0.644円上がり5.262円となる。(旧三級品)は一本当たり0.305円上がり2.495円となる。
施行日 平成25年4月1日
- 町民税均等割の特例
平成26年度から平成35年度の均等割は500円を加算し3,500円となる。
- 退職所得の町民税分離課税に係る所得割額の廃止
退職所得の所得割額から10%を控除することを廃止する。
施行日 平成25年1月1日

介護保険料

基準月額が780円上がり5,500円となる。

地域主権一括法の施行により条例改正

公民館設置及び管理

公民館運営審議会委員は学校教育・社会教育・家庭教育関係者・学識経験者から委嘱する。

町営住宅設置及び管理 特定公共賃貸住宅設置及び管理

公営住宅法の同居親族要件廃止と市町村税や住宅使用料滞納者の入居制限要件が加わる。

工事請負契約の変更

野外放送用拡声装置設置工事

1,389,150円追加し73,975,650円に変更する。

主な変更内容

三和地区乾燥塔の改造費と電気配線工事の増。

請負者 西日本電信電話(株)広島支店

指定管理の変更

38施設をそれぞれ指定管理する。

新たに豊松保険センターを社会福祉法人紅輝会に、トレイルセンターしんりゅう湖を神龍湖振興研究会に変更、ビレッジハウス仁吾川を有木自治振興会に変更し指定管理する。その他35施設は引き続き各団体へ指定管理する。

3月補正予算

神石小学校の校舎建設に4億2,000万円

○一般会計 歳入歳出補正予算額 4億687万円
補正後予算額 113億6,872万円

単位：万円(四捨五入) △は減額

費目	補正額	補正後予算額
総務費	△9,148	17億 460
民生費	△1,328	17億 158
衛生費	△1,785	9億9,867
農水費	△1,548	9億 216
商工費	81	9,305
土木費	△759	4億9,355
消防費	△1,496	4億2,715
教育費	4億2,909	10億4,076
災害復旧費	△1,834	3億7,432
公債費	△843	22億1,178
諸支出金	1億6,438	12億7,915
合計	4億 687	113億6,872

補正財源

単位：万円(四捨五入)

基金繰入金△3,235、自動車取得税△524、県支出金△108、安全安心な学校づくり交付金1億4,930、繰越金1億398、町債(借入金)2億260

繰り越し事業

農業体質強化基盤整備促進事業2,144、育成林整備3,891、小学校校舎耐震改修1,610、小学校建設4億2,000、農地及び農業用施設など災害復旧工事2億957

未来創造へ挑戦する 具体的な取り組みは

総務課

防災会議に 女性委員を

前原課長 県の防災計画見直し後、6月以降策定する。女性委員登用は検討する。

寄定議員 地域防災 計画策定と防災会議委員 への女性登用を。

前原課長 ①油木方面隊1分団2部、三和方面隊1分団1部と2分団3部である。②消防ポンプ積載車にはポンプ積み降ろしリフトを設置する。

小川議員 ①消防自 動車更新はどの部へ配備 か。②装備の充実は。

前原課長 ①油木方面隊1分団2部、三和方面隊1分団1部と2分団3部である。②消防ポンプ積載車にはポンプ積み降ろしリフトを設置する。

小川議員 福山地区 消防組合の消防無線に併 せ、本町のデジタル化を。

前原課長 町消防団が使えるよう要望する。

佐伯議員 バスとふ れ合いタクシーの利用状 況と見直しは。

前原課長 バスは実情に基づき見直されている。ふれあい号の利用者は横ばいだが、利用がたよる便もあり見直したい。

まちづくり推進課 インターネットは19%

佐伯議員 かがやきネットのIP電話とインターネットの加入が伸びない。加入推進を。

横尾議員 IP電話は 30%、インターネットは 19%の加入率だ。

横尾議員 告知端末に入っている安心通知システムの利用促進状況は。 170件の登録があり率にして4%である。せめて2桁にもってきたい。

横尾議員 告知端末 に入っている安心通知シ ステムの利用促進状況は。

横尾議員 告知端末に入っている安心通知システムの利用促進状況は。 170件の登録があり率にして4%である。せめて2桁にもってきたい。

寄定議員 ①「帝釈 の湯」バイオマスボイ ラー設置計画とその財源 は。

②燃料の木質チップ確保は万全か。

①平成24年度事業として早急に提案書を提出したい。環境省の「小規模地方公共団体対策技術先導入事業」を考えている。

②町内生産の切削チップの稼働率を少し上げれば十分供給できる。

結婚は1組 ブライダル事業

横尾議員 ブライダル関連事業の成果と課題対策は。

横尾議員 ブライダル関連事業の成果と課題対策は。 平成23年度は40組のカップルが誕生し、1組が結婚した。45才以上の婚活実施を検討中。

村上議員 ブライダ ル関連事業で、就職補助 金・支度金制度を設けて は。

村上議員 ブライダル関連事業で、就職補助金・支度金制度を設けては。 婚活イベントの方法を変えて検討している。

木野山議員 買い物弱 者救済事業でのローソ ンのスキームは。

木野山議員 一台はローン店から仕入れて販売。もう一台は注文を受け配送する。

橋本議員 空き家バ ンク登録者に3万円支給 するのはなぜか。

橋本議員 入居することを条件に3万円を支給。



ローソン号 出発式(3月9日)

木野山議員 ふれあい 事業補助金の早期支払 い。

木野山議員 ふれあい事業補助金の早期支払い。 事業額の40%を前払いし、残りは請求書で対応している。

都市交流の目的は

橋本議員 都市交流調査事業の目的は。 本町が目指す「世界に羽ばたくオンリーワンの町づくり」の可能性を探る。

松本議員 姉妹都市

松本議員 高齢者の肺炎球菌のワクチン接種は、補助金がなくなっても継続するのか。 町長 できる限り継続したい。

保健課

肺炎球菌ワクチンの 接種助成は

寄定議員 高齢者用肺炎球菌ワクチンの特徴と接種予定者は。

吉津課長 町長の政治判断で実施、高齢者に大変有効である。 町内接種800人、町外接種100人を見込んでいる。

松本議員 高齢者の 肺炎球菌のワクチン接種 は、補助金がなくなつて も継続するのか。

町長 できる限り継続したい。

産業課

小規模地元業者

への支援は

木野山議員 小規模の地元事業者への雇用対策支援は。

守多課長 町内の全ての事業所に対し、年一人に20万円の雇用補助。新規に店舗の改修、新築に50万円以下の補助。

横尾議員 耕・畜連携としての牛の放牧推進は。

守多課長 自分の土地以外への放牧は2件しかない。貸し手と借り手の意思疎通に努め放牧の推進を図る。

丸山議員 未来創造事業は2年間の計画であるがその後の6億5千万円余りの財源は。

守多課長 事業実施については国・県の補助金を利用して事業効果を発揮したい。

瀬尾議員 「竹繁茂防止事業」は、現況の竹林を対象とすべきでは。

守多課長 山林の保全が事業の目的である。対象を現況竹林とするよう条件見直し・要件緩和を県に申し入れたい。

瀬尾議員 中山間地域直接支払事業の交付金は、年内に支払うべきだ。

守多課長 事業許可を早め、年内に交付したい。

建設課

全天候フォレスト

ベンチ工法は

寄定議員 環境に優しく地震にも強い「全天候フォレストベンチ工法」を検討すべきでは。

瀬尾課長補佐 耐震性に大変優れており、適用条件の一致する現場においては、経済性など考慮しながら前向きに検討していきたい。



百彩館祭り (3月18日)

学校教育課

神石小学校

9月から新校舎

佐伯議員 神石小学校の建設完成予定と、校舎跡地利用は。

川上課長 校舎は8月に完成し9月から使用。給食棟は来年2月の完

成予定。現校舎は25年度解体し、跡地利用は学校や保護者の意見を聞き決定したい。

松本議員 統合中学校建設委員会の設置時期は。

川上課長 新年度早々に設置する。

小林議員 地元中学生の油木高校志願率は42%にとどまったが、その原因と対策は。

佐竹教育長 アンケート調査の結果では、中高連携の面で弱さがあった。油木高校と課題解決の協議を行う。各中学校とも連携し最善の取り組みをしたい。

生涯学習課

佐伯議員 帝釈峡遺跡群の地域指定と観光への活用は。
藤井課長 県教委や文化庁で検討中である。

木野山議員 「黒い雨」の読書感想文は全国から多くの応募があった。黒い雨の舞台となった地元「志麻利」への活動支援を。
藤井課長 活動が充実するよう支援を検討する。

環境衛生課

煙・悪臭は止まる

のか臭気規制

寄定議員 臭気測定の実施方針と具体的対応は。

横山課長 臭気指数規制は平成21年10月から施行し検査を実施。基準値を超えたときは改善指導してきたが最近基準値以内である。24年度は月2回、早朝や周辺の測定をする。改善勧告・命令は基準値を上回っている場合に行う。

橋本議員 油屋の最終処分場は、投入量が少ないのに、なぜ機器の検査が必要なのか。
横山課長 各機器の検査は、技術上の基準があり義務付けられている。

あなたの声を町政に

総括質問時間は、
一人30分一問一答方式で行いました



村上克朗 議員

問 新年度予算への「こだわり」は

答 「創造」実現が「こだわり」だ

Q 予算大綱には、「①雇用の創出②農業の第6次産業化推進③バイオマス構想の推進④教育環境整備の充実の4点を最重要課題として取り組む」とある。地域資源を活かし将来を見据えての計画に対しては、トップの強い気持ちは生命線であるが、「こだわり」は何か。

A 町長
今日まで町の一体化に向けて「信頼と合意」「創造と改革」を掲げて行財政改革に取り組み、一応のめどが立った。これからは、「創造」を実現させたいというのが、私の「こだわり」だ。

農商工連携で地域活性化を

Q 企業育成の「工場等設置奨励条例」の基準を変更して、企業ニーズを的確に捉えた魅力的な産業立地環境を整備することが重要だ。地域が積極的に取り組む活動に対し、効果的に支援を行うべきでは。

A 町長
大型企業の誘致は難しく、条例の改正を行ってでも地場産業の育成に目を向け、行政が先頭に立って指導するという考え方は私も共有する。

Q 農・商・工連携、産・官・学連携で地域産業の活性化を図る「神石高原第6次産業人材創生プロジェクト」の立ち上げが必要である。広島6次産業化サポートセンターの活用は。

A 町長
意欲のある農業者・団体での農産物や加工品の意見交換など、国や県が推進する「6次産業化プランナー」の研修体制を確立する。

帝釈峡観光振興策は

Q 県の「中山間地域観光振興推進事業」活用の「帝釈峡観光振興」の具体策は。

A 町長
帝釈峡と周辺の資源を活かした、体験・交流・滞在型の観光地づくりを平成24年から平成28年までに整備・実施する。

A まちづくり推進課長
平成25年までに来訪者の動向調査を実施。新規連絡船の運航や遊歩道への徒歩以外の交通手段導入など、帝釈峡の再生に向けて取り組む。



四仙人参上（豊松ストア前）

問 町長 続投への決意は

答 3期目をめざし全身全霊を捧げる



藤田 晃己 議員

Q 牧野町政は過去7年余り、新町の一体化をはじめ「財政改革なくして新町の発展はない」との強い信念のもと、数々の緒施策に取り組み、着実に成果が表れている。

未来創造計画を初め、神石高原町が生き残るための諸施策実現に対し、志なればであり、引き続き取り組む責務があると思うが、町長の決意は。

A 町長
首長の任期は1期、2期ではあまり目立った仕事はできない。4期目以後は多選だと批判が出ると言われていた。

それならどこが適正なのか、自問自答する中で年も重ねてきたが、今のところ元気なので私の心境は、「不信不立」、信無くば立たずとの言葉があるが「信あらば立つ」の思いである。議員、町民の皆さんのご理解ご協力を賜る中で、3期目をめざして全身全霊を捧げ頑張る決意である。

Q 町長として今日までの政策に対する成果の現状認識をどのように捉えているのか。

A 町長
発足以来、財政改革なくして新町の発展はないと言い切ってきた。

4カ町村がひとつになったのだから「信頼と合意の理念」を揚げ一体化を進めてきた。財政改革においてはそれなりの成果が上がっていると思う。

行政改革は目的ではなく手段であり目的は、「人と自然が輝く高原の町」であり、それに

向けての取り組みは道なかばである。日本全体でも人口が減少する中でこれからの課題は、人口減少にブレーキをかけることだ。

Q 今後の町政運営の課題に向けての具体的政策はどのように予算に反映させているのか。

A 町長
重要課題として4点、①「雇用の創出」②「農業の6次産業化の推進」③「バイオマス構想の推進」④「教育環境整備の充実」に取り組む。具体的には、若者の定住対策やそのための企業誘致などを念頭に取り組みたい。



着々と建物建築が進む井関定住団地

問 小規模農業法人化を 推進すべきでは

答 一步踏み込んで助成する



瀬尾 征爾 議員

Q 未来創造計画を柱とした4点の最重要課題・新産業創造元年の取り組みは、今後の町の振興に欠かせない前向きな取り組みで評価する。しかし、喫緊の課題として、高齢化の集落での農地の維持・荒廃地の抑制対策がある。

A 新年度、新たな小規模法人化に対する助成制度ができたが、これを活用して組織化を進め、取り組む行政の積極的な姿勢がうかがえない。

リーダーの発掘・ピンポイント集落に対する働きかけが必要では。



源流の里しんさか（マルシェ出店）

A 町長
将来につながる組織化が可能などところへは重点的に取り組む。
小規模法人化への意欲があれば踏み込んで助成をする。
本町の立地条件では、小回りの効く集団を作るのが実態に合っている。

Q 「源流の里」維持再生の取り組みで地域間格差がある。
①体制・条件に問題はないか。
②地域おこし協力隊の任期2年を3年に延長できるのか。

A 町長
①取り組みの地域間格差は承知している。取り組みの消極的地域へは、アドバイザー・リーダー養成・研修などの支援が必要だと考える。

A まちづくり推進課長
②任期は2年としているが、本人の都合や地域の受け入れ態勢を見て決めたい。
基本的には特別交付税措置される3年をめどと考えている。

延長できるのか 地域おこし協力隊

どう対処するのか 国家公務員給与削減法

Q 国家公務員給与削減法が成立し、地方にも適切に対応するよう求められているが、どのように対処するのか。

A 町長
地方は三位一体改革や合併などで身を切る改革を行ってきた。

国は違憲状態で、定数は正も議員歳費削減も何もしていない。
交付税カットがあれば本意ながらも制度的なものだから受けざるを得ないが、現段階では国に追従することはない。



片山 元八郎 議員

問 町立病院の 医師・看護師を確保せよ

答 「地域保健医療機構」活用で人材確保

Q 持続可能な町立病院運営のための医師・看護師確保の予算計上がされていないのでは。

A 町長 将来に向けての人材確保は重要案件である。具体的には「地域保健医療機構」の活用、平成大学看護学科の学生を対象に奨学制度の検討など、陽正会との協議を経て人材確保を検討していく。基金を活用して対応する。

小畠バイパスの早期完成を

Q 小畠バイパスの進捗状況は。

A 町長 河森橋付近から1200m(第2工区)については、用地説明会が開催され現在、用地取得交渉に入っているが、数名の同意が得られていない。



工事中の宮谷川砂防ダム

宮谷川ダムを多目的ダムへ

Q 宮谷川砂防ダム完成後、(平成27年完成予定)多目的ダムへの変更申請は怎么样了。

A 町長 県は、当初から砂防目的ダムなので、貯水ダムへの変更工事はできないという。しかし、完成まで数年あるので、用途変更など可能か検討したい。



上地区ポケット市場付近

カイハラからポケット市場まで 歩道の新設を

Q 現在、3年計画で小畠地区の漏水対策として、古い水道管の取り替えが行われている。これで、湯水期の「水」確保は大丈夫か。

A 環境衛生課長 まずは大丈夫と考えている。

Q 県道 吉舎油木線、カイハラ三和工場からポケット市場まで、歩行者の安全確保のため、歩道を新設すべきでは。

A 町長 平成23年度からの県に対する事業要望書のなかに入れている。予算カットで厳しいと聞いているが、県への要望活動は行っていく。

問 町民憲章への想いは

答 まちづくりの日常行動規範



小林 貢 議員

町民憲章

1. みんなで ^{じん}人生を楽しもう

－自らの教養を高め、スポーツやレジャーを通じ、仲間づくりに努めます－

1. みんなで ^{せき}責任を持とう

－健やかな子育てに努め、お互いの人権を大切にします－

1. みんなで ^{こう}行動しよう

－文化の発展や自然保護に取り組み、連携して活力ある町を目指します－

1. みんなで ^{げん}元気に暮らそう

－働くことに誇りを持ち、健康で生活できるまちづくりに努めます－

1. みんなで ^{ちょう}挑戦しよう

－あらゆる交流を通じ、新たな挑戦による町の活性化を図ります－

Q 町民憲章は、人、風土、自然など、まちの宝を全ての住民が一緒に持って大切に、将来にわたって理想像を掲げ、空間環境的達成目標を守り育てる心を表すことにより、まちとして更なる一体感を築いていくことに意義がある。対比されるものに、「条

例及び総合計画」がある。条例は法律として、適用対象を厳格に規定するものであるし、総合計画はまちづくりに関わって最上位であり、数年または数十年の想定期間があり、社会情勢などの変化に伴い適宜改定されるものである。したがって、憲章では、心の支えとなり続け得る半永久的な理想が示され、総合計画では実現を前提とした現実的な施策が示されるのが自然であるということになる。

総合計画の内容や結果は常々、憲章に則って検討されるべきではないかと考えられるが、合併が絡んだ本町の実態は、総合計画が憲章に先行して策定されている。この様な観点から、次の3点についての考えは。

① 憲章策定の遅れた理由
② 総合計画との整合性は
③ 24年度での位置づけは。

A 町長

① 答申のあった町民憲章についての所見では、憲章が遅れたことは否めないが、「人と自然が輝く高原のまち」という大きな理念がある中、どちらが先かというところ本来なら双方があるべきと思う。わかりやすく、日常挨拶に近い言い方で、確認し合い、支え合う、日常生活に生かされる有効な憲章になると期待している。

② 現時点での町民憲章と総合計画は、町民が生き生きと安心して暮らせるまちづくりの行動規範であり、人と自然が輝くまちづくりの実現をめざすものになると思う。

③ 24年度での町民憲章の位置づけは、皆さんに広くお互いの挨拶代りに使っていただきたいことから、十分啓発し、効果がでるようにしたい。



仙養ヶ原山開き（4月8日）



松本 彰夫 議員

問 「命のバトン」事業に 取り組むべきでは

答 関係機関と協議して取り組みたい

Q 高齢者などの緊急時、緊急連絡先やかかりつけ医師、常用している薬、健康保険証の写しなどを記入した緊急連絡表をバトンに入れて、冷蔵庫に保管しておく「命のバトン」事業を取り組まれてはどうか。

A 福祉課長
緊急連絡表については、消防局でも検討されているので、関係機関と協議して取り組みたい。

在宅介護への対応は

Q 高齢者の介護について、国は在宅介

護を推進しているが対応できるのか。

A 町長
要介護者は増える傾向にあり、事業所の事業拡大や新規参入を考える必要があるが、現実には厳しい。

Q 今回の介護報酬の見直しでは、在宅介護に手厚くなつており、都市型と思える。町内の事業所にメリツトはあるのか。

A 町長
保険料の見直しは1.2%増で、職員の待遇改善も含まれているが事業者には、より努力が求められる。

Q 実態は、職員の待遇改善につながっていないと思われる。在宅介護を充実させるためには、保健・医療・福祉の連携が必要であるが、その取り組みは。

A 保健課長
町立病院の連携室と各地域の居宅サービス事業所、地域包括支援センターが連携し、切れ目のないサービスを提供する



第2回地域医療を考える集い

よう取り組む。

防災計画見直しは

Q 防災計画の見直しが行われるが、関係機関の協議は。

A 町長
県、近隣市町、消防・自主防災組織などと協議する。また、町内の民生委員などの各種団体、女性の意見など取り入れたい。

指定管理のメリット デメリットは

Q 保育所の指定管理の目的及びメリット・デメリットは。

A 町長
保護者の働き方の多様化など、新たなニーズにこたえるため、民間のノウハウを活かして弾力的で迅速な対応が可能な指定管理での運営を検討している。
メリットデメリットはどちらにもある。

問 企業誘致予定はあるのか

答 具体的にはないがこれからが出发点



横尾正文 議員

Q 具体的な企業誘致の予定はあるのか。

A 町長 具体的にはない。これから出发点である。多方面に情報網を広げ模索したい。

私を筆頭に職員全員がセールスマンという自覚をもって総動員体制で挑みたい。

Q 企業誘致にむけてトップセールスをどのようにしていくつもりか。また予算計上の準備は。

A 町長 トップセールスをやる覚悟はできている。必要に応じて計上したい。

Q 企業誘致の「係」を置くと言われたが、大分県が行なっている「おおいた産業活力創造戦略」のように、企業誘致にこだわらず、既存の中小企業や農業も含めた創造戦略を練り上げるべきでは。

A 町長 雇用対策なり、企業誘致対策としての「係」になるのか戦略室になるのか決定していないが、戦略的に取り組みたい。

保育所の指定管理は

Q 昨年度の予算大綱の中に「保育所の指定管理を含めた運営方針」について、町長から検討内容や結果が出ていないと思うが、今後どうするのか。

A 町長 保育所と幼稚園の一体化を含めた「こども子育て新システム」を国で検討しているが不確定だ。この方針が決定

次第、新年度で指定管理を実施していきたい。

Q 近隣では、庄原市東城保育所が指定管理を導入している。具体的な本年度の動きは。

A 福祉課長 国では、基礎自治体に対して「次世代育成支援特別会計」へ基金を設けて、保育所と幼稚園を一体化したものへ、3年間のうちに体制移行していくことが考えられている。

また受け手も、保育士と幼稚園の教諭の資格が必要となるなどの課題もあるので、なかなか踏み切れていない。

府中北市民病院の行方は

Q 府中市が北市民病院を独立行政法人とし、縮小の方向である。

町内の多くの方が利用している。急性期医療などに支障をきたすと思われるが、町長の思いと対策は。

A 町長 北市民病院へは、石と三和地区から一般外来、整形外科、人工透析など多くの方が受診されている。

外科医の減少や病床数の減少が予想されるので影響はあると思われるが、具体策はない。

しかし町としては県に對して中山間地の医療を守る観点で保健医療推進機構などを通して問題や課題を訴えたい。



いずみ保育所の退所式



橋本輝久議員

問 地域とのコミュニケーションは「空き家」利用の定住

答 自治振興会と事前協議する

Q 「空き家情報バンク制度」において定住するにあたり地域への受け入れ方など、町としてどう関わるのか。

A 町長
34件の空き家バンク登録のうち、10件が成約。利用申し込み件数は100件程度ある。

現段階では自治振興会長から、地域とのコミュニケーションはあまりとられていない状況と聞いている。「人口が増えればどういう手段でもいいのか」などの声もある。
今後は担当課と充分協議し、自治振興会長

を中心に理解・納得いく事前協議をしながら活用していく。

かがやきネット 基盤整備は

Q かがやきネット情報通信サービスの基盤整備は、具体的にどう進めていくのか。

A 町長
屋外放送施設（災害情報）も、まもなく完了する見込みだ。

今年度については、ハード面では油木・神石地区の防災屋外施設、三和地区の有線放送施設の撤去など計画している。

ソフト面では、かがやき便りの「知っとくネット」の充実。安心通知システム、IP電話の普及を図る。

Q かがやきネット放送は、議会中継・お悔やみなどの情報のほか、介護予防体操の放送を計画しているが、頭の体操などの楽しい

番組作成など新たな取り組みをすべきでは。

A 町長
20億円以上の巨費をかけた事業なので、とおりに一辺倒の流れの放送では満足度が低いので、充実した放送をめざす。

ケーブルジョイと契約しているので、契約内容の変更が伴うのか協議したい。

「星の里いせき」販売戦略は

Q 神石高原リゾート「星の里いせき」の宅地分譲の具体的な販売戦略は。

A 町長
目標を50区画にしているが現在38区画販売。しかし条件の悪いところが残っている。完売をめざし販売条件を緩和する必要がある。

雇用確保の取り組みは

Q 町政運営の課題克服として、雇用の創出を掲げているが、具体的な考えは。

A 町長
行政として取り組み一番の課題はここにある。人口減少は、日本社会の問題でもある。若者が定住できるよう知恵を出し合う。



元気な子どもたち 豊松保育所

問 どう取り組む 消防・防災の充実

答 県の「防災会議」後 独自に実施



小川 清 治 議員

Q 予算大綱に、地域防災計画の見直し、ハザードマップの作成、町・消防団・自主防災組織が連携した消防・防災の充実を図る」とある。具体的な取り組みは。

A 町長
地域防災計画の見直しは、県の防災会議の決定を受けてから上半期に見直す。ハザードマップの作成は防災計画作成により、避難施設の確定後の取組みはJアラートからの情報を屋外放送施設への発信や、携帯電話へ発信をする。連携した消防防災の充

実は、図上訓練や、研修、地域を指定した防災想定訓練を実施する。

Q ①ハザードマップの作成は町独自で作成するのか。②自主防災組織の防災訓練に経費補助をすべきでは。

A 総務課長
①ハザードマップは町独自で作成する。
②防災訓練時の食費以外の研修経費や訓練での土のうなど、消耗品への助成を考えている。

Q ①災害発生の際、自主避難する場合、町の対応は。②自助・共助による避難時でも町が支援すべきでは。

A 総務課長
①災害発生時、まず自助と共助での対応となり、自主避難の場合は、自助対応となる。
②町が避難指示を出した場合は避難施設へできる限りの支援を行う。

各避難施設にはケーブルテレビの設備があり、災害情報を得るためのテレビなどを設置する。

Q 道の駅での観光情報発信は誰がどう取り組むのか。

A 町長
道の駅ローソン内に観光案内窓口を設置し、観光協会と182ステーションが連携して取り組む。

山林保全・再生への取り組みは

Q 山林保全及び再生に関する補助事業は無い。個人農家が行う山林の地ごしらえ、植林、育林など山林政策に対し、具体的にどう取り組むのか。

A 町長
山林は多面的な貢献林として国も認めているが、個人農家が行う事業には施策も予算も伴わない。町独自の対応はできない。

Q 世羅町は、「ひろしまの森づくり事業」で松茸王国の復活を図るため、松食い虫に強いとされる「スーパー松」の植林に取り組んでいる。

A 産業課長
ひろしまの森づくり特認事業での取り組みであり、本町でも協議会で認められ、県の認可があれば実施できる。



火災想定訓練



議員 幸 秀 定 寄

問 「雇用創出」強力に推進すべきでは

答 総合的に検討する組織で対応

Q 雇用の創出(企業誘致を念頭に若者の働く場の確保)については、担当部署を明確にし、専門的かつ強力に推進すべきでは。

A 町長

専門的に雇用対策に取り組むため、総合的に検討する組織づくりをし、雇用の確保、企業誘致に挑戦したい。

**どう取り組む
バイオマス構想**

Q 新産業創生、雇用の場確保、森林再生などのため、バイオマス資源の利・活用は

時代になかった取り組みである。「バイオマスタウン構想」に基づく具体的な取り組みは。

A 町長

バイオマス構想では

- ①林地残材の活用(チップ・ペレット化で温浴施設ポイラーの燃料化)
- ②トマト栽培残さの飼料化・堆肥化③廃食油のバイオディーゼル燃料化
- ④食品残さの養豚の液体飼料化の4項目を掲げている。総合的に各方面の代表による検討委員会を設置して検討・推進する。

「武道」教育は

Q 学習指導要領の改訂により、中学校で「武道」が必修となる。

武道は、心を鍛え礼儀を学ぶなど、青少年の健全育成の上で重要である。

「武道教育」の基本的な考えと取り組みは。

A 教育長

全ての中学校で剣道に取り組む。武道は、

- ①伝統的に精神面を尊重することを重視、修養的・鍛錬的な目的である。
- ②礼法を特に重要視し、自己を制御すると共に相手を尊重するなど人間形成にとって重要だ。
- ③相手は人間としての生き方を共に学び合う仲間同士であり、心身を鍛える

るにふさわしい教育である。指導者研修など安全体制の充実を図る。



神龍湖遊覧船から見る紅葉橋

帝釈峡遺跡群発掘調査 50周年記念シンポジウム開催は

Q 帝釈峡遺跡群発掘調査50周年記念行事の具体的な取り組みは。

A 教育長

記念シンポジウムを広島大学の大学院文学研究科・考古学研究室と庄原市教育委員会との共催で行う。

*開催日 11月10日(土)

*会場「総合交流センターじんせきの里」

*講演

①「帝釈峡遺跡群発掘調査50年の調査成果や帝釈峡遺跡群から見た石器時代について」

②「人類学から見た帝釈峡石器時代人骨の調査成果と今後の展望について」

③「出土動物の骨から見た石器時代の生活」
*午後から、パネルディスカッションを予定。

問 商品開発とブランド化推進は

答 「未来創造事業」で推進する



丸山達夫議員

Q 農業の第6次産業化推進による、トマト・ブドウ利用での新商品開発への考えは、主要母体となる組織が必要では。

A 町長 今後の新商品開発は、「未来創造事業」で進め、雇用拡大と地域の活性化につなげたい。主要となる母体は大切だ。各地で事業主体の立ち上がりが好ましく、行政もかかわっていきたい。

「神石牛」ブランド復活は

Q 和牛の振興として、神石牛復活への考えはあるのか。

A 町長 復活への考えはある。本町においては、子牛の生産実績はかなりあり歴史もある。肥育農家は33戸で、復

活に向けてはこの肥育農家の理解・賛同が必修条件であり、今後、協議などを進め、神石牛復活に取り組んでいく。

森林法改正の影響は

Q バイオマス構想において、大量の原材料が必要となるが、今回森林法が改正され、伐採などの規制が厳しくなると聞く。森林法改正の概略と、本町の対応は。

A 町長 改正は既に行われており、概要は次の通りだ。
①新たに森林の所有者に

なつた者は、市町村長届け出義務が課せられる。
②所有者不明の森林も適正な森林施業の確保のため、行政の裁定により施行代行者で間伐が行われ、作業道設置も公告手続きで可能である。
③無届け伐採の場合中止命令、また伐採後の造林を行わせる命令が出せる。
④森林施業計画を森林経営計画と改め、継続的森林経営を行うために施業、森林の集約化を前提とし実行性のある計画に見直す。小規模所有形態であれば、森林組合などの林業者に委託し、計画作成と施行をすることになり、所有者自ら自由に伐採できなくなる。

Q バイオマス構想のあるなか、個人の自由伐採規制が強化され、届出が必要なのか。山林所有者への法律改正の周知は。

A 町長 林業家には3月21日に説明会を行い、山林所有者にはかがやきネットや広報などにより伐採の届け出が必要となり、自由伐採ができなくなる事を周知していく。



真庭市 木材集積基地にて研修



佐伯卓師議員

問 農地確保し 新規参入者の募集を

答 ベターな提案だ 今後考える

Q 新規就農者支援制度を創設し3年経過したが現状と成果はどうか。

新規参入者が新たに農業を始める場合、住居や農地の確保が大きな課題になる。町が前もってリストアップし、メニューをもって募集すべきではないか。

町が仲介することにより、新規参入者や地権者も安心して取り組むことができ、事業効果も上がるのでは。

A 町長

就農者支援はこれまで和牛2人、トマトなど野菜5人、農業公社1人

の計8人で、すでに独立し経営している人もいる。農地確保の提案はベターだと思うので、今後考えていきたい。

Q 6次産業化は旧町村からの課題であり、加工施設を建て、取り組んだ経緯はあるが、期待する成果は出ていない。

新年度からの町の取り組みと民間活用について、また既存の加工施設の活用と、農商工連携の取り組み、農協との連携は。

A 町長

24年度で調査し総花的でなく方向性を決め、官民一体で取り組みたい。企業体質とし民間活用で、雇用ができればと考えている。

現在6カ所の加工場は、規模も小さく十分利用されていないのでフル活用したい。

農商工連携はこれまで成果は見えないが、商工会はアドバイザーと考えている。農協とは連携して取り組みたい。



神石小学校 卒業生と保護者（21世紀の塔の前で）

自治振興会 担当者決め支援を

Q 源流の里維持再生対策は、自治振興会や班によって取り組みに差が出ている。

高齢化や人材不足により取り組みの遅れている自治振興会に町職員の手助けを求めたい。支援することはできないか。

A 町長

目に見える効果はなかなか難しいが、安心という面で効果が出ている。

地域間の格差が生じているのは事実だが、成功例もあり、連携しながら地域再生基金なども活用し取り組みたい。

全国では担当者を決めて取り組む例もあり、将来的には考えてみたい。

問 地域主権対策に委員会設置を

答 流れを見極め対処する



木野山 孝 志 議員

A 町長 自由競争になると中山間地は弱者になる。ダメージがあることは認識しており危機感を持っていて。しかし今の民主党政権では公が全部そうなるとは思わない。

Q 民主党政権となり、地方分権から地域主権が叫ばれ着々と事務は実行されている。これは公の新自由主義体制改革であり、中山間地の自治体にとっては厳しい状況と危惧するがどう受け止めるか。

A 町長 合併当時は「夢」を持てる環境になかった。「改革」により体質改善も進み「創造」の段階となった。創造だけでは現実的なので「夢」を加えた。

Q 自由競争の時代での「攻め」として、本年度の予算大綱で「夢」と、本議会で「挑戦」のキーワードが出てきたが、この思いは。

Q 基本的な住民生活の保障は必要である。国の改革に対する町の対応策を事務的に対処するための横断的な委員会と、「攻め」のまちづくり委員会の2つの路線で推進したらどうか。

A 町長 すぐに委員会が必要ではないと思う。世の中の流れをよく検証し、対処する。

A 町長 ①今回挙げた内で観光だけを「開発」として。これは、観光をもう一步踏み込んでやりたいとの意味だ。

Q ②神石小学校の給食棟の建設と統合中学校の設計委託料を計上した。給食棟建設は、老朽化し保健所からの指導で耐震化対策を行う。共同調理場は設置しない。中学校の統合は学校配置検討委員会の答申により教育委員会が基本方針を定め、現在地元説明会を開催中。

Q 観光に 一歩踏み込む



元気に卒園（どんぐり幼稚園）

Q 早い時期に決定するためには地元同意を早く取り付ける必要があり、早急に場所の決定が必要だ。両校の生徒をほぼ均等にするためには、学区の制定が必要と答申にはあるが。

A 教育長 通学区をフリーにするので、通学区の変更は行わない。

議員提案による意見書

全会一致採択

障害者総合福祉法の制定を 求める意見書

提出者 片山元八郎
賛成者 木野山孝志

「障害者自立支援法」施行後、応益負担制度など様々な問題が指摘されている。

国連では、平成18年12月に障害者権利条約が採択され、90カ国以上が批准を終えている。

我が国は、国内法が未整備のため、未だ批准できていない。障害者総合福祉法こそが、人間としての尊厳を尊重され、ニーズにあった支援サービスを受けられることを可能にするものである。

障害者総合福祉法制定に当たり、推進会議総合福祉部会がとりまとめた「障害者総合福祉法の骨格に関する福祉部会の提言」を最大限尊重し、反映させること。
(抜粋)

基礎自治体への円滑な権限移譲に 向けた支援策の充実を求める意見書

提出者 寄定 秀幸
賛成者 木野山孝志

地域主権改革は、国と地方が対等の立場で対話できる環境への根本的な転換を進めていくべきである。

1. 権限移譲に伴う財源措置・電算システムなど臨時的経費についても確実に財源措置を行うこと。
2. 事務引き継ぎ、研修・職員派遣など、権限移譲が円滑に進められるよう地方側に十分な情報提供を行うこと。
3. 広域連合設立手続きの簡素化など、地域の実情に応じた効果的な権限移譲を行うこと。
4. 地方の自主性・裁量性を拡大し、地方の特性に応じて一層の「義務づけ・枠付け」の見直しを行うとともに「国と地方の協議の場」において地方との十分な協議を行うこと。
(抜粋)

特別委員会活動報告

議会改革推進特別委員会

第1回特別委員会（1月18日）

- ・議会報告会について協議・検討
- ・「議会基本条例」制定目標は9月定例会

第2回特別委員会（2月8日）

- ・研修会
 - ①地域主権一括法について
 - ②「地方議会新時代における議員像」
 - ③なぜ議会改革は必要なのか
- ・議会基本条例（素案）を議会に提出

第3回特別委員会（4月10日）

- ・研修会
 - ①議会基本条例（素案）の説明
 - ②検討、質疑応答・意見交換
 - ③議会報告会開催について

地域医療を見守る特別委員会

第2回「地域医療を考える集い」を開催

3月4日、三和公民館において第2回地域医療を考える集いを陽正会・町・議会で開催。

医師不足など医療現場を取り巻く現状について古川医監（広島県地域保健医療推進機構）の基調講演と町立病院の現状と課題について原田院長と池田看護部長が報告。

町立病院存続のため何ができるかを、町・町民・議会及び医療機関関係者が手を取り合って模索するための有意義な集いとなった。



「町立病院」の医師不足や看護現場の厳しい現状を踏まえ、町民の理解と行政としての一層の努力が必要である。

追跡ありやあどうなった？

今はどうなっているか？追跡しました

屋外スピーカーで緊急放送 情報通信基盤事業

平成23年6月補正にて計上されていた屋外放送用拡声装置設置工事（屋外スピーカー等一式工事）34カ所の設置が完了しました。

事業目的としては、かがやきネットで整備した告知端末機などの補完として、緊急時の情報伝達手段の整備を図るものです。一般放送（定時放送やページング放送）は屋外スピーカーから放送されません。

そして町内における防災インフラの現状は、新設16本、既設18本です。

新設16本は、三和地区が9カ所、豊松地区が5カ所、油木地区が2カ所。既設18本は、神石地区10カ所、油木地区8カ所となっています。



三和地区上に設置の屋外スピーカー

全国瞬時警報システム 本町でも運用開始

全国瞬時警報システム（J-ALERT）は緊急地震速報などの対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に、国から人工衛星を用いて情報を送信し、本町のCATVシステムの告知端末や屋外拡声装置から緊急情報を直接そして瞬時にお知らせするシステムです。

◎お知らせする情報

緊急地震情報（最大震度5弱以上）、弾道ミサイル、航空攻撃情報、ゲリラ、特殊部隊攻撃情報、大規模テロ情報、その他国民保護情報

◎警報が出たら

地震の場合は、周囲の状況に応じて、あわてず、まず身の安全を確保してください。

内容が限定的のため、テレビやラジオをつけてください。

指示に従い、屋内への退避、近隣の避難所施設などへの避難をして下さい。

クイズの解答とともに寄せられた

“みんなの声”

年をとってから議会だよりなん
てむずかしいと思ったけど、よ
く見るとわりと面白い。議員さ
んも大変なんだと思いますし、
私も賢くなったみたい。

(85才・女性)

先日久しぶりに、町立病院でお
世話になりました。看護師さん
のほんとにやさしく、気配って
接して下さることに頭が下がり
ました。ありがとうございます。

(74才・女性)

岡山産興の煙と臭いがたまりま
せん。議会として調査願いたい。

(59才・男性)

いつもかがやきネットで議会議
を見ています。いろいろな議員さ
んの意見がとてもすばらしいです。
これからも、僕たちの町を支え
ていってください。

(13才・男性)

過疎になり空家が目立つようにな
っております。我が家の前も
空家になり雑草が生え、気にな
っておりますが新年になり
入居が決まり喜んでいきます。

(76才・女性)

先般テレビ放映された議会の様
子を見せて頂きました。町民
のためにご努力されている事に
感謝申し上げます。皆様のご活
躍これからもよろしく願いま
す。

(70才・女性)

町内に避難所が6カ所あるそ
うですが、まったく知りませ
ん。一覧表にして広報してい
たい。また避難所への避難
誘導方法も考えていただきたい。

(66才・女性)

神石高原町の事をTV放送する
時には、かがやきネットや告知
端末などで知らせていただけ
ばありがたいです。

(75才・男性)

いつも「みんなの町議会」を楽
しみに読ませてもらっています。
昨年は、いろいろな事が有り忘
れることができました。今年は大
い年であります様願っています。

(76才・女性)

高齢者になって、年のせいばか
り気にしてはいけなかつくづ
く思います。まわりの人に助け
られている事を忘れずに、自分
なりにできる事をして皆さんと
楽しい日が送れる事を願いま
す。

(76才・女性)

第12回 議会クイズ 正解・当選者

- ① 改革
② 2
③ 神石牛
④ 防災
⑤ 広石

多数のご応募頂きありがとうございます。正解者多数により抽選の結果、次の方々が当選され、1000円分のやまなみ商品券を送りました。

第12回クイズ当選者

- 豊松地区 池田 子さん
豊松地区 油野 宗子さん
神石地区 田辺 アツコさん
神石地区 横山 恵さん
神石地区 妹尾 清恵さん

(順不同)

広島県町村議会議長会

議会広報コンクールで 最優秀賞を受賞

平成23年4月号発行の「みんなの町議会」第26号が、写真の部門を含め最優秀賞を受賞しました。町民の皆様身近に感じてもらえる広報誌として、精進してまいります。議会へのご意見、ご要望などお寄せいただければ幸いです。



元気なグループ紹介

「みるの」

仙養東自治振興会



うなぎのつかみどり大会



私たち上野は、矢名瀬・上野谷・山方班の3班で肩を寄せ合い頑張っています。この3つの集落を強い絆で結ぶように清流（上野川）が流れ、夏にはホタルの乱舞も見られ、とても良いところと自負しています。

この清流のほとり、17年前より、若者達（大仙会）による「うなぎのつかみ取り大会」を夏の恒例行事として行っています。

今年は早々に「是非とんどをやろう」と話が盛り上がり、事前の準備、当日と初めての行事で大変でしたが、地域の多くの人に参加していただき、壮大に舞い上がる炎を囲み、豚汁、甘酒、ぜんざいや竹筒の熱燗に舌鼓を打ちながら、老いも若きもふれ合いと絆を深める有意義な一日となりました。

私たちの地域も高齢化が進み1人ぐらしの増える中、営農組合を核として、とんどの炎のように、ひとり一人の小さな炎を結集し、農地を守り、五穀豊穣を願って頑張っています。

このように、人と人がつながり、同じ価値観を共有できる行事を今後も行い、みんな元気でおもしろく年を重ね、地域を守っていききたいと願っています。

第13回 議会クイズ

《クイズ》

空欄に適切な言葉を入れてください。

- ①平成24年度一般会計〇〇億90000万円
- ②神石小学校校舎建設費(〇億2000万円)
- ③総括質問 「〇〇〇〇」強力に推進すべきでは
- ④総括質問 〇〇〇〇し新規参入者の募集を
- ⑤元気なグループ紹介 「〇〇〇」

《ヒント》

議会広報を良く読めば解ります。

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入してください。

議会への要望・ご意見なども書いてください。「まちの声」で、できるだけ紹介いたします。正解者多数の場合は抽選で5名の方に1000円分のやまなみ商品券をお送りいたします。

応募はお1人・1通に限定させていただきます。

《あて先》

〒720-11522 神石高原町小島二〇二五

神石高原町議会事務局

「第13回議会クイズ係宛」

《締め切り》

5月15日(火) 消印有効

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および「まちの声」などの目的以外には利用いたしません。

編集後記

東日本震災から一年が経過しました。さまざまな復興計画が議論されているがまだ時間がかかるようです。一日も早い復旧復興を望みます。

入学、卒業、就職の季節となりました。希望の未来へ向けて一歩一歩前進してください。

議会提案施策も予算化され新年度がスタートしました。昨年に引き続き広島県議会広報最優秀賞を頂きました。今後とも愛読頂けるみんなの議会広報を目指し、研鑽と努力に励みます。

(小)

議会広報広聴調査特別委員会

- 委員長 寄 定 秀 幸
- 副委員長 小 川 清 治
- 委員 木 野 山 孝 志
- 委員 橋 本 輝 久
- 委員 横 尾 正 文

住所／広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 0847-89-3340
FAX 0847-85-4201